

HiKOKI

取扱説明書

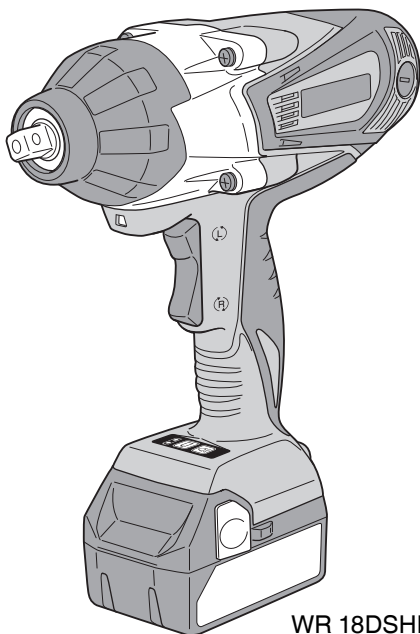
用途

- 構造物締結用などの各種ボルト・ナットの締付け、ゆるめ

コードレスインパクトレンチ

18 V WR 18DSHL 14.4 V WR 14DSHL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



WR 18DSHL

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	8
仕様	9
各種先端工具のご紹介	10

はじめに

電池残量表示について	11
LED ライトの使い方	12
充電する	13
ボルトを締める / ゆるめる	15
締付け作業上のご注意	17

使い方

保守・点検	19
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0℃ 未満、または温度が 40℃ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スwitchに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具本体を使用してください。**
 - 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスインパクトレンチとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ソケットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動など工具本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

⚠注意

- ① 工具類（ソケットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
- ④ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
 - 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
 - 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ⑦ ユニバーサルジョイント使用時は無負荷で運転しないでください。
 - ソケットが振り回され、けがの原因になります。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、蓄電池が抜け落ちるなど、けがの原因になります。
- ⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。
本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
14.4 V 蓄電池 (BSL14xx シリーズ) の場合：電池電圧 8 V まで低下すると停止
18 V 蓄電池 (BSL18xx シリーズ) の場合：電池電圧 10 V まで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② コードレス工具体体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、コードレス工具体体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。
さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・作業中にコードレス工具にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - ・保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないで買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ.....

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

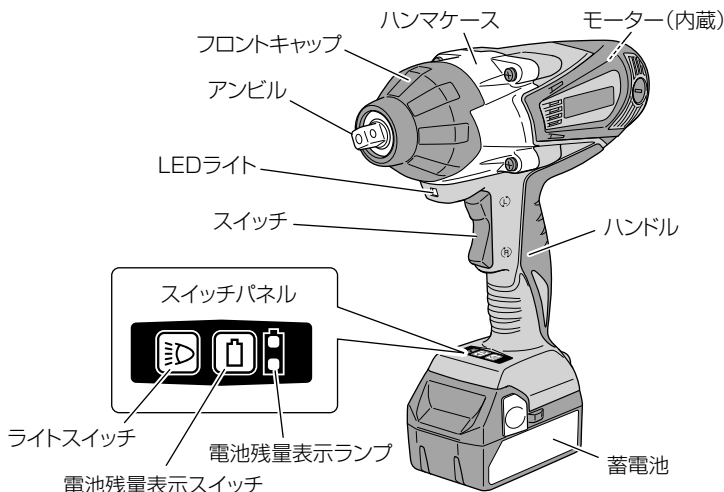


○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

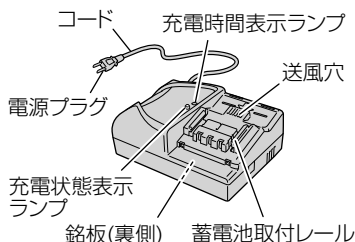
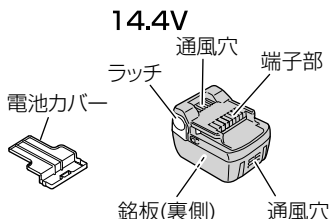
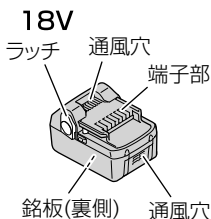
各部の名称

工具本体 【イラストは WR 18DSHL です】



蓄電池

充電器



標準付属品

工具本体 仕様 品名・形名	WR 18DSHL				WR 14DSHL			
	2LSCK	2LLCK	2LJCK	NN	2LSCK	2LLCK	2LJCK	NN
蓄電池 (本体装着 1、予備 1)	BSL1830 2 個	BSL1840 2 個	BSL1850 2 個	—	BSL1430 2 個	BSL1440 2 個	BSL1450 2 個	—
充電器 UC 18YSL2	1 台	1 台	1 台	—	1 台	1 台	1 台	—
収納ケース	1 個	1 個	1 個	—	1 個	1 個	1 個	—
電池カバー	2 個	2 個	2 個	—	2 個	2 個	2 個	—

仕 様

1. 工具本体仕様

形 名	WR 18DSHL	WR 14DSHL
能 普 通 ボルト	M12～M22	M12～M20
力 高 力 ボルト	M12～M16	M12～M14
最大締付けトルク [気温 20℃ 満充電時] [締付け時間 3 秒]	420 N・m { 4,290 kgf・cm } M22 F10T 六角ソケット使用	340 N・m { 3,470 kgf・cm } M22 F10T 六角ソケット使用
先 端 形 状	四角ドライブ 12.7 mm	
モ ー タ ー	直流モーター	
無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃ 満充電時]	1,500 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
打 撃 数 [気温 20℃ 満充電時]	2,000 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電 池 電 圧	18 V	14.4 V
工 具 本 体 寸 法 全長×高さ×セントライト	264 mm × 290 mm × 39 mm (蓄電池装着時)	264 mm × 290 mm × 39 mm (蓄電池装着時)
質 量	3.4 kg (蓄電池 装着時)	3.2 kg (蓄電池装着時)
LED ラ イ ト	白色 LED	
残量表示ランプ	赤色 LED	
振動 3 軸合成値 ^{*1}	9.7 m/s ² ^{*2}	10.3 m/s ² ^{*2}

※ 1 : 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト : <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

※ 2 : 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-2 規格に基づき測定しています。

2. 充電器

形 名	UC 18YSL2
入 力 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間 [気温 20℃時]	BSL1850/BSL1450…約 35 分 BSL1840/BSL1440…約 30 分 BSL1830/BSL1430/ BSL1415……………約 22 分
充 電 電 圧	14.4 V-18 V
充 電 電 流	BSL1850/BSL1840 BSL1830/BSL1450 BSL1440/BSL1430 : 7.5A BSL1420/BSL1415 : 3.5A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.7 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
冷 却	対応 (ファン付き)

3. 蓄電池

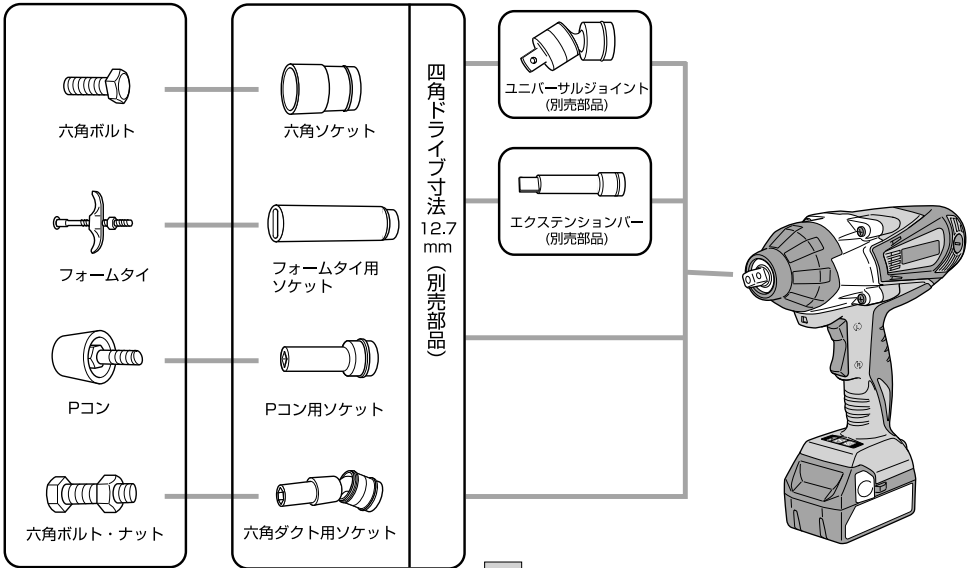
形 名	BSL 1830	BSL 1430
容 量	3.0 Ah {3,000 mAh}	
冷 却	対応	

形 名	BSL 1840	BSL 1440
容 量	4.0 Ah {4,000 mAh}	
冷 却	対応	

形 名	BSL 1850	BSL 1450
容 量	5.0 Ah {5,000 mAh}	
冷 却	対応	

各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具 (アタッチメント) をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



注 能力より小径のねじやボルトを締めると、ねじやボルトが切れる恐れがあります。また、能力より太径のねじやボルトを締めると締付け不足になることがあります。

はじめに

電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すと赤色ランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

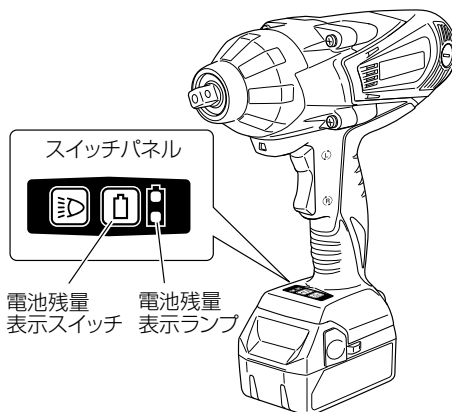
ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が約半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

⚠ 注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。



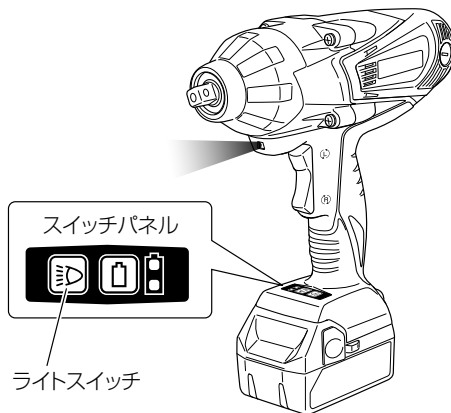
LED ライトの使い方

⚠ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびに LED ライトが点灯・消灯します。
蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。

注 LED ライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約 15 分経過すると自動で消灯します。



充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りが少なくなったときは、次のように充電してください。

1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

5

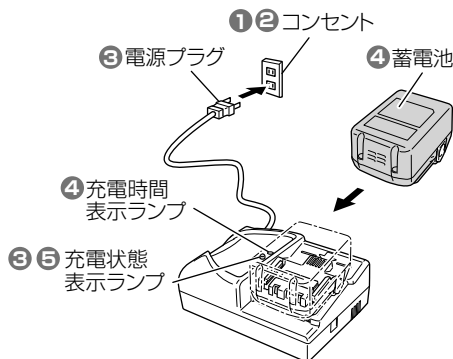
充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

3

電源プラグをコンセントにさし込む

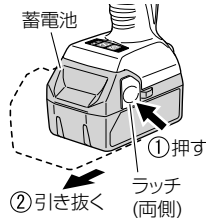
充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.14「充電ランプの表示について」参照)



4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



• 蓄電池をしっかりときと突き当たるまでさし込んでください。

• 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤 / 橙 / 緑のいずれかに連続

点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

充電時間

BSL1430/BSL1830 : 約 22 分
BSL1440/BSL1840 : 約 30 分
BSL1450/BSL1850 : 約 35 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がっています。各ランプの表示内容は以下になっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30 分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20 分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5 分
	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あります。 (下記参照)

注 ● 橙の早い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下したときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつかた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

ボルトを締める / ゆるめる

●各種ボルト・ナットの
締付け、ゆるめ

⚠ 警告

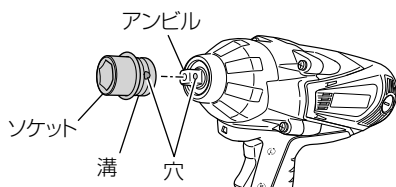
ソケットの取付けや取りはずしの際、
万一の事故を防止するため、必ずスイ
ッチを切り、蓄電池を工具体から抜
いてください。

⚠ 注意

- ソケットにヒビ、割れがないことを
確認してください。
ソケットが破損し、けがの原因にな
ります。
- ピン、リングに変形、摩耗、ヒビが
ないことを確認し、必ず正規の位置
にセットしてください。
確実でないとはずれたりし、けがの
原因になります。

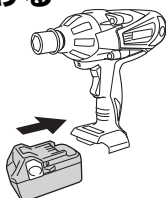
1 ソケットを取付ける

P.16「ソケットの取付け方」に従っ
てソケットを取付けます。



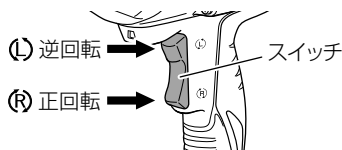
2 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチ
ッ」と音がするまで、
しっかりと押し込んで
ください。

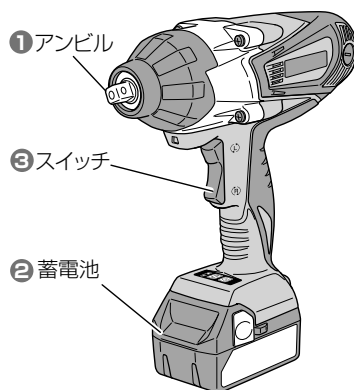
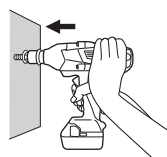


3 スイッチを入れる

- スイッチは下図のように(㊦)側に引く
ことにより正回転(締付け)、(㊩)側に
引くことにより逆回転(ゆるめ)にな
ります。

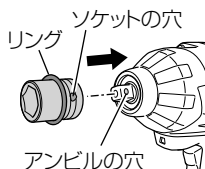


- ボルトに対して工具
本体をまっすぐにし
て、スイッチを引い
てください。

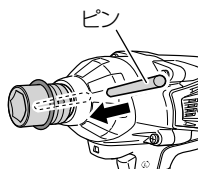


- 注**
- 正回転、逆回転の切替えは、モー
ターが完全に停止していることを確認
してから、スイッチを入れてくださ
い。
 - ボルトとナットにゆるみがあると、
締付け時にナットと一緒にボルトも
回って締付けができない場合があり
ます。このようなときは一度止めて、
ナットを仮締めして作業してくださ
い。

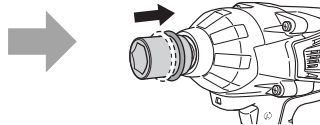
●ソケットの取付け方



① リングを溝からずらし、アンビルの穴とソケットの穴が合うようにしてソケットをさし込みます。



② ピンを穴に通します。



③ ピンが落ちないようにしながらリングを溝に入れます。

注 リングをソケットの溝からずらすとき、ピンを落としてなくさないように注意してください。

●ボルトが締付けられる数は

工具本体の1充電当たりの作業量の目安を示します。(締付け本数は、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

形 名	WR 18DSHL	WR 14DSHL
蓄 電 池	BSL 1850	BSL 1450
条 件	M16×55 (F10T) 3秒締付け 六角ソケット使用	M14×50 (12.9) 3秒締付け 六角ソケット使用
本 数	約 158 本	約 142 本

●ボルトに合ったソケットの選定と作業

ボルト、ナットのサイズに合ったソケットをご使用ください。サイズの異なったソケットを使用しますと適正な締付け力が得られないだけでなく、ソケットやナットを損傷します。

ソケットの六角穴や四角穴が摩耗すると、ソケットとアンビルとのガタが大きくなり、締付け力が減少します。ソケットの摩耗具合をみて新しいものと交換し、ご使用ください。

ボルト、ナットの適正な締付けトルクは、ボルトの材質やサイズ、等級などによって異なりますので、ボルトに合った締付け時間で作業してください。(P.17「締付け時間とトルクについて」参照)

なお、本作業の前に、何本か実際に締めて締付けトルクをご確認ください。

締付け作業上のご注意

● 連続作業について

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

注 連続運転中はハンマケースが熱くなるので、手を触れないでください。

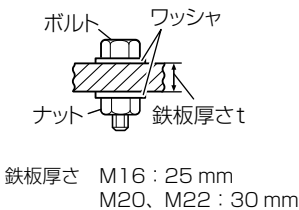
● 工具の保持と押しつけ力について

工具本体は両手で確実に保持してください。工具本体を保持した際には、ボルトに対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、工具本体は必要以上に押しつける必要はありません。

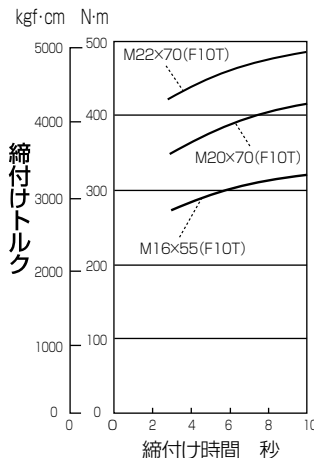
工具本体をこじる力や押しつける力が過度にかけると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

● 締付け時間とトルクについて

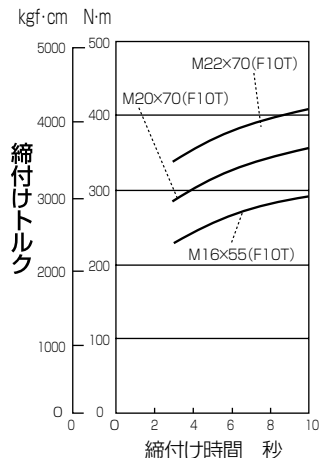
ボルトの適正締付けトルクは、ボルトの材質・サイズ・締付け物の材質などによって異なります。ボルトの締付けトルクと締付け時間の関係は下図のようになっています。これらを参考にして適正な締付け時間で作業してください。



○ WR18DSHL の場合



○ WR14DSHL の場合



●締付けトルクに影響する要因

1 締付け時間

締付け時間を長くすると締付けトルクも増加します。ただし、あまり長時間締めてもある値以上は増加しません。(P.17「締付け時間とトルクについて」参照)

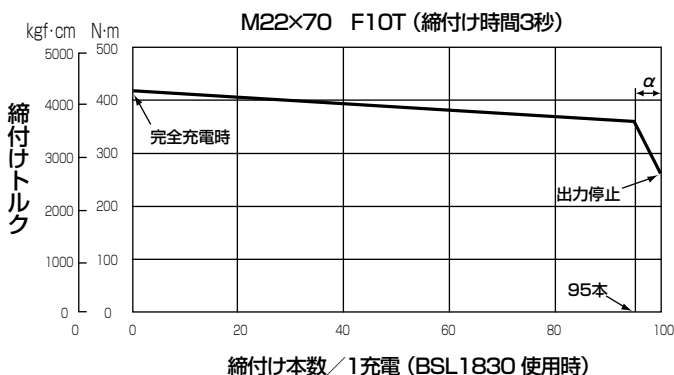
2 ボルト径

ボルトの径が変わると締付けトルクも変わります。一般に大きなボルト径ほど締付けトルクは高くなります。

3 蓄電池の電圧

本体を使用していくと蓄電池の電圧が次第に低下し、締付けトルクが低下します。一例として M22×70 (F10T) の締付けトルクと締付け本数の関係を示します。下図のように締付けトルクは締付け本数が増えるとともに徐々に低下します。特に出力停止間際(図中の α 範囲)になりますと工具本体の打撃力が弱くなり、また、打撃数も少なくなって急激に締付けトルクが低下します。電池電圧が約 12V まで低下すると蓄電池本体の保護機能により出力を停止しモーターが停止します。この状態になりましたら締付けトルクを確認の上、蓄電池の充電をしてください。

○ WR 18DSHL の場合



4 締付け時間

- 同じボルトでも、トルク係数 (ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示)、等級、長さによって締付けトルクは変化します。
- 締付け物 (鉄骨等) の座面仕上がり、締付け物どうしの状態によっても締付けトルクは変化します。
- ボルトとナットが共回りすると大幅にトルクは低下します。

5 別売部品の使用

ユニバーサルジョイント、エクステンションバーなどを使用すると、若干締付けトルクが減少します。

6 ソケットのガタ

- ソケットの六角部、四角部が摩耗してガタが大きくなると、締付けトルクが低下します。
- ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないと、締付けトルクは低下します。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ソケットの点検

ソケットの六角穴や四角穴が摩耗しますとガタが大きくなり、締付けトルクが低下します。定期的にソケットを点検し、摩耗している場合は新品と交換してください。

●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーター部の取扱について

モーター部（P.8「各部の名称」参照）の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●取付ねじの点検

機体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締直してください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

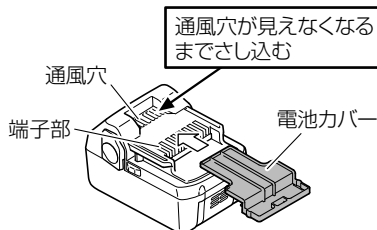
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池はコードレス工具体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



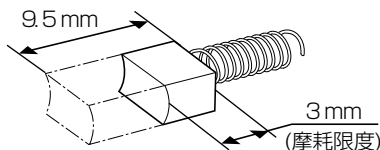
- 注**
- 長期間（3 ヶ月以上）蓄電池を保管するときは、満充電にして保管してください。
長期間、電池残量が少ない状態で保管すると、使用する際に充電できなくなる恐れがあります。
 - リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。
蓄電池の残量が少ない状態で長期間保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を 2 ～ 5 回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3 mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

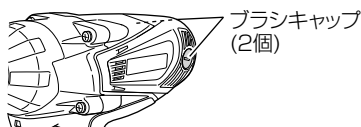
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回してとりはずします。



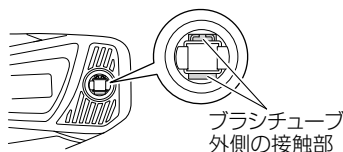
2 カーボンブラシを取り出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っかけて、取り出します。



3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のように、カーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



注 カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い)。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>